

第 2 学年 英語科 学習指導案

1 単元名 Unit 7 My Favorite Movie (NEW HORIZON English Course 2)

2 単元の目標

- 4 コマ漫画のストーリーを A L T に英語で伝えることができる。
- 比較表現を用いて、様々な物や人を比べて話したり書いたりすることができる。
- E.T. のストーリー内容を読み取り、要約文を完成することができる。

3 単元の評価規準

コミュニケーションに対する意欲・関心・態度	表現力	理解力	言語文化に対する知識理解
<ul style="list-style-type: none"> ・既習の言語材料を用いて、イラストが表す場面について英語で表現しようとしている。 ・英語の質問を聴いて理解し、答えようとしている。 ・E.T. のストーリーを読んで内容をとらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストが表す場面について、適切な英文で話したり、書いたりすることができる。 ・比較表現を正しく用いて、相手に質問したり答えたりすることができる。 ・E.T. のストーリーの内容を簡潔に英文でまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比較表現が含まれた対話文や、やや長めの英文を聴いたり、読んだりして、その要点をとらえることができる。 ・質問した内容について相手の返答を簡単にメモすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞、副詞の変化(原級ー比較級ー最上級)を正しく理解している。 ・as~as-, ~er than-, the -est (more~ than-, the most~) の 3 用法を使い分けることができる。 ・イラストの場面を表す際、適切な表現方法(現在形と現在進行形など)を選択することができる。

4 単元と生徒

(1) 単元について

Unit 7 では、形容詞・副詞の比較表現を学習する。形容詞は、1 年生の Unit 2 で、名詞を修飾する用法(a big park)を、Unit 4 では、be 動詞の補語としての用法(English is interesting.)を学んでいる。動詞にかかる副詞については、1 年生の Unit 4 で I study hard. として既に学習している。形容詞・副詞ともに、比較表現は、2 年生のこの単元が初出となる。

ここで学ぶ比較表現としては、「A は B と同じくらい〜だ」という同等比較「as 原級 as」の形、「A は B より〜だ」という「比較級+ than」の形、「A が最も〜だ」という「the 最上級+ in (of) ...」の形の 3 つが主に挙げられる。この単元で扱う形容詞や副詞に限らず、これまで学習した形容詞や副詞を総復習しながら、原級ー比較級ー最上級の変化をしっかりと身に付けさせたい。その際、綴りに変化が見られる幾つかの形容詞・副詞(easy-easier-easiest, big-bigger-biggest 等)については、繰り返し注意を喚起し、確実に身に付けさせたい。また、er, est を付けての発音は言いにくく困難と予想されるため、丁寧な発音指導に努めたい。比較級や最上級については、2 音節以上の場合、more や most を使った比較となることも、併せて指導していく。比較の 3 表現ともに、まずは be 動詞を用いた表現に慣れさせた後に、一般動詞を扱い、副詞の比較へと表現を広げていく。

本文の題材は、「好きな映画」をテーマに話が展開され、グリーン先生が好きな映画「E. T.」のストーリーが紹介されている。E. T. は、1982 年公開の映画である。生徒が生まれる以前のものであるが、長年に渡って人々に愛され続けている名作である。E. T. が地球に取り残されてから、エリオット少年と出会い、別れを告げて宇宙船で帰るまでのストーリーが書かれている。ストーリーが現在形で書かれていることに注目させ、話の筋を追って読んだり、ストーリーの要点を話したり書いたりする力を養っていきたい。

(2) 生徒の実態(省略)

<文法事項・題材について>

Unit 7 の学習の前に、形容詞・副詞の意味が適切に理解されているかについて、復習テストを行った。

*復習テストの一部を下記に示す。

◇ 1～30までの単語の意味をア～ホから選んで（ ）に記号を書きなさい。

1 big ()	16 small ()	ア 忙しい	タ 親切な
2 cold ()	17 old ()	イ 難しい	チ 注意深い
3 dark ()	18 hot ()	ウ 短い, 低い	ツ 幸せな, 楽しい
4 long ()	19 easy ()	エ 高い	テ 馴染のある, おもしろい
5 happy ()	20 interesting ()	オ 新しい	ト 寒い

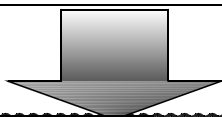
(以下 実態は省略)

5 指導の構想

新学習指導要領の下、これまで、「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、実践的コミュニケーション能力を養う」ことを目標に英語の指導が行われてきた。次期改訂に向け、中央教育審議会による「外国語科の現状と課題、改善の方向性」では、課題の1つとして「基本的な語彙や文構造が十分に付いていない、内容的にまとまりのある一貫した文章を書く力が十分に身に付いていない」状況がみられることを挙げ、コミュニケーション能力の基礎となる「文法指導の改善を図る」べきだと述べている。実際、クラスの生徒の実態で述べたように、1年次に学習した形容詞・副詞の語順が正しく身に付いているとは決して言えない結果であった。NRTの検査では、「書くこと」の領域も、他の3領域に比べ最も低い正答率にある。そこで、中央教育審議会が提示した資料6の「文法指導の在り方について」で提言されている下記の2点を踏まえ、本単元での実践に移すこととした。

- コミュニケーションと文法を別のもので扱うのではなく、文法はコミュニケーションを支えるものと考え、言語材料（語彙、文法事項等）を理解して、使用しながら互いの気持ちや考えを伝え合うなどのコミュニケーション活動を図る。
- 言語の使用場面と言語の働き、そして言語材料をそれぞれ効果的に関連付けながら指導を図る。

本単元においては……



- ① ペアによる対話を行う際に、Yes, No等の簡単な返答にとどまらず、理由や考えなどを述べるように対話を広げ、話題を変えながら繰り返し行うことで文法の定着を図るとともに、互いの返答をメモする活動を通して、コミュニケーションを確かなものとする。
- ② それぞれの場面を表すイラストを利用し、ストーリーを語ること（Story telling）を通して、言語の使用場面と働き・言語材料の関連付けを図る。

①に関して

本単元 Unit 7 では、比較表現を学習するが、学んだ表現を使いながら毎時間、ウォームアップ等の時間を利用し、ペアによる対話を行う活動を位置付けていく。Why do you think so?, What do you think of it?等の質問を追加することにより、自分の気持ちや考えを英語で述べることのできる生徒に育てたい。また、相手の返答をメモする活動を取り入れることにより、相手の発話を注意深く聴こうとする態度を育て、文字として記録することによって理解できたかどうかを客観的に知ることができると考える。

②に関して

E. T. のストーリーに関する語彙を十分に身に付けさせるとともに、本文の音読練習、そして本文を意味のまとまり毎に区切って日本語から英語に直して言う練習を経て、英語特有の語順の定着を図っていく。その後、E. T. の各場面を表すイラストを見て、ストーリーを語る段階にまで高めていきたい。そこでの練習を生かし、次のステップとして、ALTの先生に日本の4コマ漫画のストーリーを紹介する活動を組み入れる。イラストにより場面状況が明らかであるとともに、ストーリーを現在形を用いて述べるという言語の働きに配慮しながら、これまで学んだ言語材料を適切に駆使して英文作成する力を養いたい。

<本単元で講じる手だて>

- 対話をする際、相手の返答を理解するための手段として、聴き取ったことをメモするためのリスニング用紙を用意する。
- 互いに顔を上げてやりとりができるように、対話のパターンを暗記させた上でペアによる対話を行わせる。
- 日本語シートを利用して、日本語から英語でE. T. のストーリー（本文）が復元できるように、繰り返し練習させる。
- ALTが日本の漫画が好きで、4コマ漫画（毎日新聞掲載）のストーリーを教えて欲しいという状況を設定し、活動に目的をもたせる。

6 指導と評価の計画（全10時間）

時	○ねらい ・主な学習活動	評価規準 (B)の状況 【評価方法】	評価観点				十分満足できる(A) 状況	努力を要する(C) 状況への手だて
			関	表	理	知・理		
1	○ 同等比較(as ~ as)を理解する。 ・これまで学んだ形容詞・副詞を整理し、発音と意味を確認する。 ・共通点がある人を探し、as ~ as を用いて表現する。	・英文の使われている場面状況から、as ~ as が「同じくらい～(だ)」を意味することを推測している。 (関,理) 【授業時の発言】 ・as ~ as を用いて、5文程度の英文を書いている。(表) 【ワークシート】 ・これまで学習した形容詞・副詞を正しく発音している。(理) 【授業時の見取り】	○	◎	○	・as ~ as の意味を推測することができるとともに、形容詞・副詞が使われていることを指摘している。 (関,理,知) 【授業時の発言】 ・as ~ as を用いて、8文以上の英文を書いている。(表) 【ワークシート】 ・形容詞・副詞を正しく発音し、その意味を述べている。(理,知) 【授業時の見取り】	・年齢や身長など、分かりやすい状況を例として導入する。(理) ・黒板に文例を提示し、人物を替えて英文を書くように指示する。(表) ・発音練習時に、個別支援を行う。(理)	
2	○ ~ er than -, および Which/Who is 比較級, A or B?とその答え方を理解する。 ・クラスの仲間同士を比べ合い、~ er than - を使って表現する。 ・クイズを作り、互いに出題し合う。	・英文の使われている場面状況から、2つ(人)を比較する表現であることに気付いている。 (関,理) 【授業時の発言】 ・比較級を用いて、5文程度の英文を書いている。(表) 【ワークシート】 ・比較級をほぼ正しく用いて、クイズを作成している。(表) 【ワークシート】	○	◎	○	・場面状況から、英文の意味を正しくとらえている。 (関,理) 【授業時の発言】 ・比較級を用いて、8文以上の英文を書いている。(表) 【ワークシート】 ・比較級を正しく用いて、クイズを作成している。(表) 【ワークシート】	・年齢や身長など、分かりやすい状況を例として導入する。(理) ・黒板に文例を提示し、人物を替えて英文を書くように指示する。(表) ・黒板に文例を提示し、A, Bの部分を入れて替えてクイズを作成するようにアドバイスをする。(表)	
3	○ the ~ est of(in) - を理解する。 ・クラスの「1番～」を表現する。 ・形容詞・副詞の変化(原級, 比較級, 最上級)を表にまとめる。 ・教科書P76の本文内容を理解し、音読する。	・英文の使われている場面状況から、「1番～(だ)」を意味することに気付いている。(関,理) 【授業時の発言】 ・最上級を用いて、5文程度の英文を書いている。(表) 【ワークシート】	○	◎	○	・場面状況から、英文の意味を正しくとらえている。(関,理) 【授業時の発言】 ・最上級を用いて、8文以上の英文を書いている。(表) 【ワークシート】 ・正しい発音, アクセント, 自然な抑揚で,	・年齢や身長など、分かりやすい状況を例として導入する。(理) ・黒板に文例を提示し、人物を替えて英文を書くように指示する。(表) ・音読の個人練習時に、個別支援を行う。(理)	

		<ul style="list-style-type: none"> 正しい発音, アクセントで本文を読んでいる。(理) <p>【授業時の音読】</p>				<p>本文を読んでいる。(理)</p> <p>【授業時の音読】</p>		
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ more, most を用いた比較表現を理解する。 • more, most それぞれの比較表現を含んだ英文を聞き, それまで学んだ比較表現との違いに気付かせる。 • 教科書P77の本文内容を理解し, 音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 英文を聞き, 比較表現として more, most が用いられていることに気付いている。(関理) <p>【授業時の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 正しい発音, アクセントで本文を読んでいる。(理) <p>【授業時の音読】</p>	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> • 場面状況から, 英文の意味と形を正しくとらえている。(関理) <p>【授業時の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 正しい発音, アクセント, 自然な抑揚で, 本文を読んでいる。(理) <p>【授業時の音読】</p>	<ul style="list-style-type: none"> • スポーツや教科など分かりやすい状況を例として導入する。(理) • 音読の個人練習時に, 個別支援を行う。(理) 		
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書P78, 79の内容を読み取ることができる。 • 本文を黙読し, ストーリーを追いながら話の概要を整理する。 • E. T. のせりふ"I'll be right here."で, 彼が何を言いたかったのか, 考える。 • 本文を音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 本文を黙読し, 要点の書かれた英文をストーリーの順に並べている。(関理) <p>【授業時の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> • せりふに込められた E. T. の気持ちを日本語で述べている。(理) <p>【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 正しい発音, アクセントで本文を読んでいる。(理) <p>【授業時の音読】</p>	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> • 根拠を基に, 要点の書かれた英文をストーリーの順に並べている。(関理) <p>【授業時の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> • せりふに込められた E. T. の気持ちを英語で述べている。(理) <p>【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 正しい発音, アクセント, 自然な抑揚で, 本文を読んでいる。(理) <p>【授業時の音読】</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 要点の日本語訳を示し, ストーリーの順に並べるように指示する。(理) • 場面とせりふの日本語訳を確認した上で E. T. の気持ちを考えさせる。(理) • 音読の個人練習時に, 個別支援を行う。(理) 		
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語を基に, 教科書P78, 79のストーリーを述べるができる。 • 単語や連語の意味, 発音を確認する。 • 本文シートを利用し, 日本語から英語に直す練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 本文を見ずに, 日本語訳を見ながら, 正しい発音, アクセントで英文を述べている。(関理知) <p>【授業時の練習の見取り, 相互評価】</p>	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> • 本文を見ずに, 日本語訳を見ながら, 正しい発音, アクセント, 自然な抑揚で英文を述べている。(関理知) <p>【授業時の練習の見取り, 相互評価】</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本文シート裏面の英文を参考に, 1文ずつ確認しながら, 練習するようにアドバイスをする。(関理知) • 練習時に, 個別支援を行う。(理) 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ○ Which do you like better, A or B?を用いた表現を理解する。 • 上記表現を用いて, ペアで対話練習を行う。 ○ イラストの場面を表す英文を書くことができる。 • 4コマ漫画の一場面を取り上げ, その場面を表す英文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> • スムーズとまではいかないが, 英文を見ずに, 相手に質問したり, 相手の答えをほぼ正しくメモしたりしている。(関理) <p>【対話練習時の見取り, ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 要点を落とさずに, 読み手にほぼ伝わる英文を書いている。(関表知) 【ワークシート】 	○	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • 英文を見ずに, 相手に質問したり, 相手の答えを正しくメモしたりしている。(関理) <p>【対話練習時の見取り, ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 要点を落とさずに, 読み手に伝わる英文を書いている。(関表知) 【ワークシート】 	<ul style="list-style-type: none"> • 対話例を見ながら, 質問したり, 答えたりするように指示する。(関理) • 原稿作成時に机間支援を行う。(関表)

8	<p>○ E. T. や4コマ漫画のストーリーを英文で表すことができる。</p> <p>・ Which do you like better, A or B?を用いてペアで対話練習を行う。</p> <p>・ E.T.のイラストを基にストーリーを英語で紹介する。</p> <p>・ 4コマ漫画のストーリーを英語で書く。</p>	<p>・ 聞き取った内容をほぼ正確にメモしている。(関, 理)</p> <p>【ワークシート】</p> <p>・ イラストを見ながら, 簡単な英文1~2文でE.T.のストーリーを話している。(関)</p> <p>【授業時の見取り, 自己評価】</p> <p>・ 要点を落とさずに, 読み手にほぼ伝わる英文を書いている。(関, 表, 知)【ワークシート】</p>	○	◎	○	○	<p>・ 聞き取った内容を正確にメモしている。(関, 理)</p> <p>【ワークシート】</p> <p>・ イラストを見ながら, 簡単な英文3文以上で, E.T.のストーリーを話している。(関)</p> <p>【授業時の見取り, 自己評価】</p> <p>・ 要点を落とさずに, 読み手に伝わる英文を書いている。(関, 表, 知)【ワークシート】</p>	<p>・ 対話例を見ながら, 質問したり, 答えたりするように指示する。(関)</p> <p>・ 原稿作成時に机間支援を行う。(関, 表)</p> <p>・ 辞書の引き方について, 個別支援を行う。(関)</p>
9	<p>○ 4コマ漫画のストーリーを述べるができる。</p> <p>・ 英文を推敲し, 発表練習を行う。</p> <p>・ グループ毎に, A L Tにストーリーを話す。</p> <p>・ 発表を振り返る。</p>	<p>・ 要点を落とさずに, 聴き手にほぼ伝わる英文を話している。(関, 表)【授業時の発表】</p> <p>・ 自分の取組について成果と課題を述べている。(関)</p> <p>【自己評価】</p>	○	◎	○		<p>・ 要点を落とさずに, 聴き手に伝わる英文を話している。(関, 表)【授業時の発表】</p> <p>・ 自分の取組について成果と課題を振り返り, 今後の学習にどのように生かしたらよいかを述べている。(関)</p> <p>【自己評価】</p>	<p>・ グループ内のペア同士で助け合うように指示する。(関, 表)</p> <p>・ 発表のどんな点がよかったか, またよくなかったのか, 声の大きさ, 発音等, 観点を示し, 振り返らせる。(関)</p>
10	<p>○ Unit 7のまとめを行う。</p> <p>・ E. T. の要約文を完成する。</p> <p>・ 教科書 p.82 の「まとめと練習」を行う。</p>	<p>・ 教科書 p.80 を参考にストーリーの要約文を書いている。(関, 表)【ワークシート】</p> <p>・ 練習「やってみよう」に正解している。(知)</p> <p>【授業での見取り】</p>	○	◎	○		<p>・ 辞書等を利用して, 教科書に頼らずに, 要約文を書いている。(関, 表)</p> <p>【ワークシート】</p> <p>・ 教科書以外の応用の練習問題も解いている。(知)</p> <p>【練習問題プリント】</p>	<p>・ 本文シートを参考に, 教科書 P 8 0 の要約文を書くように指示する。(関, 表)</p> <p>・ 教科書 p.82 の「確かめよう」を参考にして問題を解くようにアドバイスする。(知)</p>

7 本時の学習 (全10時間, 本時8時間目)

(1) 本時のねらい

- 比較を用いた質問 Which do you like better, summer or winter?に対する相手の答えを正しく聴き取り, その理由をメモすることができる。(関心) (理解)
- イラストを見ながら, E. T. のストーリーを簡単な英文で話すことができる。(表現)
- 4コマ漫画のストーリーを紹介する英文を書くことができる。(関心) (表現) (知識理解)

(2) 本時の学習活動における具体の評価規準と十分満足できる (A) 状況の判断基準

<p>< Bの状況 ></p> <p>・ 「夏」が好きか「冬」が好きか, 相手の返答を正しく聴き取り, その理由をほぼ正確にメモすることができる。</p> <p>・ イラストを見て, 簡単な1~2文の英文で, E. T. のストーリーを話すことができる。</p>	<p>< Aの状況 ></p> <p>・ 「夏」が好きか「冬」が好きか, 相手の返答を正しく聴き取り, その理由を正確にメモすることができる。</p> <p>・ イラストを見て, 簡単な3文以上の英文で, E. T. のストーリーを話すことができる。</p> <p>・ 主語, 動詞を落とさずに, 4コマ漫画の各場面を表す</p>
---	---

- ・主語、動詞を落とさずに、4コマ漫画の各場面を表す英文を1～2文で書くことができる。
- 英文を3文以上で書くことができる。

(3) 本時の構想

本時は、次時のALTに対する4コマ漫画のストーリー紹介に至る橋渡しの時間にあたる。

- ① ウォームアップとして、比較を使った質問 **Which do you like better, A or B?** を用いて「夏が好きか冬が好きか」を話題に、ペアで対話を行う。

比較表現 (**Which do you like better, A or B?**とその答え方) を身に付けさせることは無論、その理由を問う質問 (**Why do you like ~ better?**) を追加することによって、互いの気持ちを伝え合う場を設ける。質問をする側も答える側も、互いの顔を見ながら対話するように促す。質問者は、相手の答えをシートに簡単にメモする。(日本語でも英語でも可。) 相手の反応によって、**Just a minute., Pardon?, Speak more loudly.** などを使うように、前時に指導を行っている。理由を述べる英文については、前もって教師側でチェック済みである。生徒が自信をもって、対話活動に臨めるように配慮したい。対話終了後には、数名の生徒にパートナーがどのように答えたのかを報告させ、対話成立の有無を確かめるとともに、理由まで述べることでできた生徒を褒めて励ましたい。

- ② イラストを見ながら、E. T. のストーリーを述べる活動を行い、その後、4コマ漫画のストーリーを紹介する英文の作成に入る。

まず、授業開始とともに、教科書の題材であるE. T. のストーリーに関する単語や連語の発音練習と意味の確認を行わせる。前時にも行われた活動である。ウォームアップの後、本文を音読し、さらには本文シートを使って、日本語を英語に直して話す練習をし、十分に復習させた後で、ストーリーを述べる活動に入る。音読は、すべてグループ(3～4人)で行い、読みに自信のない生徒も気兼ねなく取り組むことができるように考えた。E. T. のストーリーのイラストカードは、4枚用意する。各自が持つカードについて、順にイラストを見せ、それぞれが英語でストーリーを紹介していく。

4コマ漫画のストーリー作成については、グループ内で各自が1枚イラストを担当し、その場面についての英文を書いていく。前時は、3文以上の英文を書くことを目標とした。本時も3文以上の英文を書くことを目標に取り組みせたい。4コマ漫画を説明する英文は、語彙や書き方が難しいと予測されるため、単語リストと書き方を示す英文プリントを渡し、作文の際の参考とさせる。辞書の活用も可とし、用意しておく。4コマ漫画は、8グループで4つのストーリーを担当する。従って、同じストーリーを2グループが担当することとなる。次時の検討時には、グループ毎の互いの表現方法の違いにも目を向けさせ、さらに英文を推敲させていきたい。

C状況の生徒への手だてとして、スモールステップを踏んだ本時の指導過程とペア、グループの活用が挙げられる。授業スタート時の語彙の発音・意味確認、本文の音読(英文を読む→日本文から英文へ)、E. T. の **Story telling**、4コマ漫画の **Story telling** と、無理のないように段階を追った授業構成を心がけた。また、音読をグループ、**Story telling** の活動をペアでの助け合い活動と位置付け、互いに教え合って課題が遂行できるように配慮した。グループ編成についても、人間関係を考慮して、英語用に考えたものである。

(4) 本時の展開と評価

学習内容・活動	主な教師の働き掛けと生徒の反応	指導上の留意点と評価
・ 語句の発音, 意味確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の順で本時にかかわる英単語句の確認を行う。 ① ペア同士で、英単語リストの語句の発音をチェックする。 一方が語句を発音し、他方が読まれた語句に印をつけていく。合図があったら役割を交代する。 ② 個人で日本語から英語で言えるかをチェックする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャイムがスタートしてからの開始とする。3分程度で行う。リストは予め配布したものを使用する。

<ul style="list-style-type: none"> • Greeting • Warm-up 比較を用いた練習 「どちらが好きか？」 <p>(12 min.)</p>	<p>英語で語句を言いながら、リストに印をつけていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> • あいさつをする。 T: Good afternoon, class. Ss: Good afternoon, Anita. How are you? T: Fine, thank you. How are you? • ペアで質問し合う。聴き手はメモを取る。 指示によりペアの相手を替えて計2回同じ対話を行う。 ex. S1: Which do you like better, summer or winter? S2: I like winter better. S1: Why do you like winter better? S2: (Because) I can ski. S1: I see. • 対話の後、数名に尋ね、聴き取った内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> • あいさつ後、天候に関する質問をし、Warm-upへと話題を広げる。 • 対話のし方を確認してから、活動を始める。 【評価】 Aの状況：相手の返答を正しく聴き取り、その理由を正確にメモすることができる。 Bの状況：相手の返答を正しく聴き取り、その理由をほぼ正確にメモすることができる。 [リスニングシート]
<ul style="list-style-type: none"> • 本時の目標の確認 • ストーリーの内容確認 • Story telling No.1 「ストーリーを語ろう No.1」 • Story telling No.2 「ストーリーを語ろう No.2」 <p>(35 min.)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本時の目標を確認する。 Today you'll tell the stories in English. • 教科書の本文を音読する。 1回目 ---- グループで教科書 P78,79 の本文を読む 2回目 ---- 本文シートの日本語を見ながら、英語に直して言う • グループ内で、E. T. のストーリーを表すイラストについて英文で説明する。準備時間は30秒とし、その後始める。 You have one or two cards. Tell the story about the picture on the card. Take turns telling the story in English. • 1～2グループに全体発表させる。 • 新聞の4コマ漫画を配布する。各自1枚のイラストを担当し、場面を表す英文を書く。 You know, Japanese comics are very popular in the world. Our ALT Melissa likes Japanese comics very much. One day she found a "yonkoma-manga" in a newspaper. She doesn't understand Japanese. She wants to know the story. So let's write the story in English for her. • 時間に余裕があれば、グループで英文を検討させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 目標を黒板に貼る。 • グループは3～4人。 • 本文シートは予め配布済み。 • イラストカードを配布。 【評価】 Aの状況：3文以上の英文でストーリーを話すことができる。 Bの状況：1～2文の英文でストーリーを話すことができる。 [発表時の見取り, 自己評価] • 4コマ漫画を配布。 • 辞書の使用はOK。 • 単語リストと書き方シートを参考にさせる。 【評価】 Aの状況：主語、動詞を落とさずに、場面を表す英文を3文以上書くことができる。 Bの状況：主語、動詞を落とさずに、場面を表す英文を1～2文書くことができる。 [ワークシート]
<ul style="list-style-type: none"> • 本時の振り返り • Greeting 	<ul style="list-style-type: none"> • 自己評価カードに本時の取組について記録するように指示する。 • 次時の授業内容を伝える。 • あいさつをする。 	